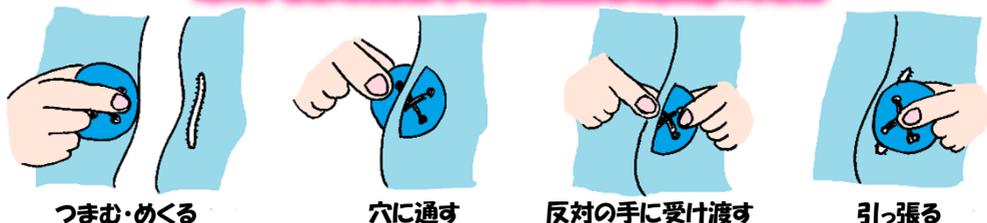


ひとりでできるもん!!～ボタン編～

たくさんの遊びの経験が「じぶんでできた！」の喜びにつながります。

何歳になったら自分でボタンができる？ボタンの練習はした方がいい？という声が聞かれます。親も子も楽しく練習できたらいいけれど、『できるようにさせなくちゃ！』と必死になり、いつの間にか笑顔を忘れていませんか？練習することばかりにとらわれず、まずは指先を使った遊びをたくさんしましょう！繰り返すことで生活の動作が身についていきますよ！

ボタンをかける、はずすために必要な指先のうごき



遊びの中で指先を使おう！

保育園の手作りおもちゃや市販のおもちゃ、身近な素材を使って十分に指先を使った遊びを楽しみましょう！



※小さなパーツやおもちゃは誤飲に気を付けて遊びましょう！

じぶんでやりたい！

衣類のボタンも『じぶんで！』という気持ちになったら、大きめのボタンで数が少ないもの（パジャマ等）を用意してあげましょう。胸元のボタンは子どもからは見えにくいので、裾のボタンから掛けると、しっかりと目で見ながらボタンを掛けられます。やる気を奪わないためにも、急かさずに見守ることが大切です。必要なところは「ちょっとだけお手伝いしてもいい？」と優しく手伝ってあげましょう。

